JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部：	北海道支部	(2)記載者氏名：	鈴木　貞信	会員番号：	13645	事務局整理記入欄			北海道－245
分水嶺区分	H120△448.2東ＩＩＰ～P420分岐：H121方向			(3)山行日：	2005年	3月	6日	(4)天候	曇　積雪2m

(5) 参加者氏名および会員番号

				サポート要員氏名および会員番号			
L鈴木　貞信	13645						
鈴木　美紀	会友10						
		計	2名			計	名

(6) 山行記録・位置確認（出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して）・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略：	JR東長和信号場西～H120△448.2の東ＩＩＰ～・438～・425～C420分岐～東長和信号場												
ｱﾌﾟﾛｰﾁ：	北広島→R274→穂別ﾀﾞﾑ→東長和信号場（往復）												
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	東長和信号場西	長和	142	12	35.74	42	56	24.85	·202		8:15		
分水嶺到達点	・438西415	長和	142	12	5.69	42	57	7.87	422	10:00	10:15	B-4	(8), (9), (10)
H120	△448.2東ＩＩＰ	長和	142	11	44.20	42	57	9.50	445	10:55	11:15	B-4	(8), (9)
	・438	長和	142	12	10.40	42	57	11.40	436	11:50	11:55	B-4	(8), (9), (10)
	・425	長和	142	12	33.19	42	57	31.60	425	12:40		B-4	(8), (9), (10)
分水嶺離別点	C420分岐	長和	142	12	45.70	42	57	34.30	421	13:00	13:35	B-4	(8), (9), (19)
歩行終了点	東長和信号場	長和	142	13	8.50	42	56	37.70	253	14:50		B-4	
										総歩行時間（休憩時間を除く）：			5時間25分

分水嶺距離：2.1km　その他距離：4.4km

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

分水嶺の近くを今は使われていない林道が所々で見受けられた。

(9) 水および植生に関連した特記事項

分水嶺の南側には穂別川が流れている。
分水嶺の近くにトドマツの人工林が散見され、その他白樺・ダケカンバ・カラマツなどの広葉樹が密生している。

(10) その他の特記事項

分水嶺周辺は、シカ・うさぎ・キツネ等の足跡が多数あり、動物の楽園の中を通らせてもらった。
エゾ鹿の家族も何回か見ることができ、こちらを見て「何しに来たの？」と問いかけている様に思えた。
また、途中から折れて横たわっている大木の根元に、エゾ鹿の一家のねぐらを発見した。風雪を避けるような場所であった。

(11) 写真の添付：（有りの場合には、写真説明を記入してください）

写真説明：
①エゾ鹿のねぐら（右下）
②ねぐらの拡大写真

山行報告書（続き）
表面（1ページ目）に書ききれなかった事項を記入してください。

①エゾ鹿のねぐら（右下）

②ねぐらの拡大写真